

最先端表現技術利用推進協会レポート Vol.13

表技協には最先端の表現技術に関わるさまざまな分野の会員が所属しています。法人および個人会員で構成される部会は、「プロダクト」「クリエイティブ」「ユーザ」に分けられており、各種プロジェクトを進め

ている他、月1回のペースで開催される合同部会において、最先端の表現技術に関する情報交換および学習を兼ねて、会員による発表を実施しています。ここでは、これらの活動をピックアップして紹介しています。

北上市プロジェクトマッピング教育支援

北上市では2016年9月30日に行われる「いわて国体前夜祭」において、表技協のプロジェクトマッピングの指導認定校である北上コンピュータ・



■まちなか博物館での設営の様子

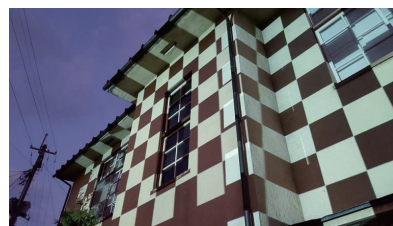
アカデミーが制作する、国見山廃寺跡（国指定史跡）をテーマにしたプロジェクトマッピングを北上まちなか博物館に投影します。

表技協は北上市の依頼により、このプロジェクトマッピングの制作と実施に関わる教育支援を北上コンピュータ・アカデミーに対して会員である株式会社Flapper3と共に実施しています。

8月17日には実施場所の北上まちなか博物館（旧消防分署）でのテスト投影を行いました。表技協と北上市で作成した投影設計の基本プランに沿って、北上コンピュータ・アカデミーのCG・CADコースの教員2名、学生4名と共に実際に使用するプロジェクターを設置・調整し投影しながら窓の位置や明るさの評価を行いました。

北上市からは北上市長をはじめ商業観光課の方々に参加され、本番

に向けての期待が高まっていました。テスト投影は無事終了し、明るさや設置位置などが基本プラン通りに効果を発揮することが確認できました。北上コンピュータ・アカデミーでは、この確認をうけて9月30日の本番を目指してコンテンツの制作に励み、表技協では引き続きサポートを行っていきます。



■チェッカーパターンでプロジェクターの位置を微調整しながら投影範囲を確認



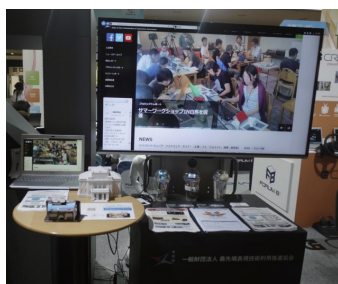
■この建物で特長的な窓の位置をトレースし、制作用のデータを作っていく

幅約16mのまちなか博物館は、旧消防分署で少しレトロな建物です。2台の4500lmのプロジェクターで投影できるかのテストです。台風が関東から東北に向かうのに合わせて移動しており、設営は雨と風の間隙をぬって行われました。

先端コンテンツ技術展出展レポート

2016年 6月 29日（水）～7月1日（金）の3日間、東京ビッグサイトで開催された「第2回 先端コンテンツ技術展」に出展いたしました。

表技協は、法人会員である株式会社フォーラムエイトと共同出展となり、同社のブース内に、プロジェクトマッピングテーブル、VR



■表技協ブースの様子

ビューア、ファブボット（提供：個人会員 ハマナカデザインスタジオ）を中心とした展示を行いました。



■ VR ビューアが来場者の興味を集めた



■プロジェクトマッピングテーブル



今後の予定としては、2016年11月16日（水）～11月18日（金）に幕張メッセで開催される「Inter BEE 2016」に協力しており、併せて会場にブースを出展いたします。出展内容等の詳細は、決定次第表技協HPにて告知いたしますので、ぜひご覧ください。



■STEM教育のワークショップでも人気の高い「ファブボット」（ハマナカデザインスタジオ）

【HP】 <http://soatassoc.org/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/>

一般財団法人 - 最先端表現技術利用推進協会 - 657690841039437/

【Youtube】 <https://www.youtube.com/channel/UCAFjlvUqY9L57dZIH1735rw>

【twitter】 @soatassoc_org